

インテリアプランナー



あるあるネタ

- ・カフェに入ってもメニューより先に、照明器具や椅子のデザインをチェックしてしまう。
- ・家具配置を見ると「あと10cmずらせば完璧なのに…」とつぶやいてしまう。
- ・ドラマや映画のシーンでは、人物よりも背景のインテリアが気になる。

初期の失敗

最初の案件で、見た目にこだわりすぎて収納力ゼロの部屋を提案。住む人の“暮らし”を見落としたと痛感し、「美しさ」と「機能性」のバランスを学びました。

職業病

初めて訪れた友人宅でも、壁紙やカーテンの色が気になって仕方がない。「この部屋、北向きだよね？」とすぐに言い当ててしまう。

健康問題

重たいカタログの持ち歩きや、図面・サンプル作成で長時間の座り作業が続くことで、肩こり・腰痛・眼精疲労になりやすいです。現場チェックや搬入立会いでの足の疲れも慢性化します。

その職業に就いている人を讃える

あなたは、「暮らしに魔法をかける演出家」ですね。ひとつの照明、ひとつのファブリックに込めた思いが、誰かの毎日をちょっと豊かにしてくれる。空間に命を吹き込み、生活に色彩を与えるあなたのセンスは、まるで“住まいのメイクアップアーティスト”。これからも、目と腰のケアを忘れずに、たくさんの「帰りたくなる場所」を創ってください。